



あたたかい医療をみんなの手でー

# Human

## “きみつだより”

NO.82 平成28年7月15日発行  
編集責任者 大崎 慎一  
編集者 “HUMAN”編集委員会

玄々堂 君津病院 〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代) URL http://www.gengendo.jp/

## 第18回 病院研究発表会開催

6月24日(金)18時より新館大会議室において第18回病院研究発表会(病院教育委員会主催)が開催された。本研究発表会は全職員を対象に行われ、各部署がそれぞれの専門分野で研究し、院内外の研究会等で発表した成果を報告する場であり、参加している職員全員が学ぶ場となっている。



はじめに大崎副院長(病院教育委員長)による指定講演の後、放射線科・リハビリテーション科・栄養科・看護部・臨床工学科から計5演題の発表があり、発表後は答が行われた。最優秀演題に放射線科 宗島千秋技師が選ばれ、院長賞が贈呈された。

### 指定講演

座長 看護部 木村純子  
「高齢化地域における腎不全医療の方向性」  
診療部 大崎慎一

### 一般講演

第1部  
座長 薬剤部 丸 博人  
「当院における職員乳がん検診の現状」  
放射線科 宗島千秋

「補助具を提供し動作に变化がみられた症例」  
リハビリテーション科 須藤貴大

「入院高齢者の体格指数低下をきたす要因の分析」  
栄養科 小泉美佐子

第2部 座長 診療部 久保田 将  
「自己血糖測定に対する患者の思いと看護師の思い」  
看護部 中尾 薫

「卒後教育へのスタンスと新人育成の現況報告」  
臨床工学科 立石好行

### 入社・新入職員オリエンテーション

平成28年度入社式と新入職員オリエンテーションが4月1日、2日の両日に行われた。  
入社式では池田重雄院長の挨拶の後、新入職員を代表して看護師の村井風香さんが誓いの言葉を述べた。

入社式に続いてオリエンテーションが行われ、当院の概要や理念、就業規則の説明、先輩職員の話聞いた後、所属部署への挨拶等を行い、2日目は安全対策、感染対策、ビジネスマナーについて

### 新入職員歓迎ハイキング・永年勤続者表彰

5月15日(日)新入職員歓迎ハイキングが行われた。  
今年職員・職員家族合わせて380名が参加、うち154名がJR佐貫町駅からマザー牧場までの約7kmのコースを、全行程徒歩、半行程徒歩に分かれて歩いた。ゴール地点となっていたマザー牧場では、永年勤続者表彰を行い、今年度は30年勤続3名、20年勤続3名、10年勤続16名に池田院長より表彰状と目録が贈られた。

5月晴れの中、森林浴をしながらハイキングを楽しみ、ジンギスカンに舌鼓を打ち、職員の親睦を図り、明日からの鋭気を養う1日となった。

### リハビリテーション教室開催

3月19日(土)リハビリテーション室において第13回リハビリテーション教室を開催した。  
今回①体力測定と転倒について



### 看護の日(まちの保健室)

5月14日(土)イオンモール富津において、「まちの保健室」が開催され、当院より2名の看護師が参加した。  
5月12日の「看護の日」にちなみ千葉県看護協会君津地区部会が毎年開催しているイベントで、看護週間にあたるこの日は、君津・木更津・富津・袖ヶ浦地域の医療機関に勤務する保健師、看護師が健康相談や栄養相談を行った他、体脂肪、骨密度測定等を行った。地域住民との交流を通して、健康意識の向上に努めた。



## 2016年度診療報酬改定について



医事課長 山口伸行

健全な病院経営を支える収入源として、診療報酬というものが設定されており、各診療行為や使用した薬剤などに点数を付け、1点単価を10円として計算します。

現在の形になったのは昭和33年と言われておりますが、それ以来、今日まで各医療機関は国で定められた保険点数の算定ルールに従って、患者さま一人

一人の診療行為を月々まとめて保険者へ請求し、収入を得ております。この診療報酬の算定ルールは2年に1度見直される事になっており、今年が改定の年にあたります。

2016年度改定は2018年度に控える診療報酬・介護報酬同時改定のマイナーチェンジ的な内容と言っており、良いかもしりません。

しかし、診療報酬改定が見据えるのは、今後の日本が直面する医療、介護問題そのものです。いわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる平成37年

(2025年)に向けて、国民皆保険制度を堅持しながら、あらゆる世代の国民一人一人が状態に応じた安全・安心で質の高い医療を受けられるようにするため、医療機関や医療従事者が取るべき方向性が示されていると言っており、良いでしょう。

具体的には、認知症対策、退院支援、医療機関同士の地域連携、小児医療、救急医療、リハビリ、栄養と食事に関する事項などに手厚い報酬が設定されています。薬剤は医療費削減の観点から、湿布薬や定期薬の長期間処方ルールが厳格化されました。また、大病

院へのフリーアクセス(紹介状なしの受診)の制限や、かかりつけ医の評価など、いずれも超高齢社会、少子化、人口減少等への対応として、中長期的な政策の流れの一環と位置付けられる内容が盛り込まれています。ただ病気を治せば良いという医療から、治した後は地域で支える医療への転換が迫られていると言われております。

当院でも2年前から、急性期としての一般病棟に加えて、慢性期の患者さまが比較的長い期間入院できる療養病棟と、病状の落ち着いた患者さまに対してリハビリを中心にご自宅へ帰れるように支援する地域包括ケ

ア病床を設けて、地域の医療ニーズにこたえられるように病床の転換を図ってきました。今後はサービス付き高齢者向け住宅の開設等も控えておりますので、介護分野との連携を益々深めていけることと思っております。

ここ数年の診療報酬改定は単なる保険点数の適正化や算定ルールの見直しに留まらず、人事・労務管理なども含めて自院の地域での役割や方向性を考えさせられる内容となっております。当院がこの地域での役割をしっかりと果たせるように、診療報酬改定の内容とその意味を職員全体で考えていきたいと思

②飲み込む力と肺炎発症の可能性についてをテーマに、理学療法士・言語聴覚士が講義を行った。

①では、体力低下による転倒・骨折を未然に防ぐため、日常生活において運動習慣を身に付けることの大切さを伝え、参加者全員の筋力・柔軟性・バランス等を測定し、現在の体力を把握することをを行った。

②では、肺炎での死亡率は、年齢を重ねる毎に高くなる傾向にある。また嚥下機能が低下することで誤嚥性肺炎の発症率も高くなるため、嚥下機能を評価し肺炎発症の危険性を知ることの大切さを伝えた。

終了後、参加者からは「自身の体力を過信していた」「同世代の体力と比較でき、参考になった」「初めて嚥下の評価が出来て良かった」等の声が聞かれ、講師・参加者ともに充実した時間となった。  
次回は、9月24日(土)に開催予定。

### 糖尿病教室開催

5月28日(土)新館大会議室において第115回糖尿病教室が開催された。今回は医師・糖尿病療養指導士の資格を有する看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師による講義が行われた。最初に石川淳子看護師が「糖尿病ってどういう病気?糖尿病性腎症について」を話し、飯島佳奈子薬剤師が「糖尿病治療薬 経口薬について」、次いで高橋友美管理栄養士が「腎臓を守る食事」について、森陽介理学療法士からは「運動で腎臓病を防ごう」、最後に荻野良郎副院長が「糖尿病と腎臓病」について講義を行った。参加者からは積極的な質問が飛び交い、糖尿病の知識を深める有意義な時間となった。

# CTやレントゲン検査は危険?

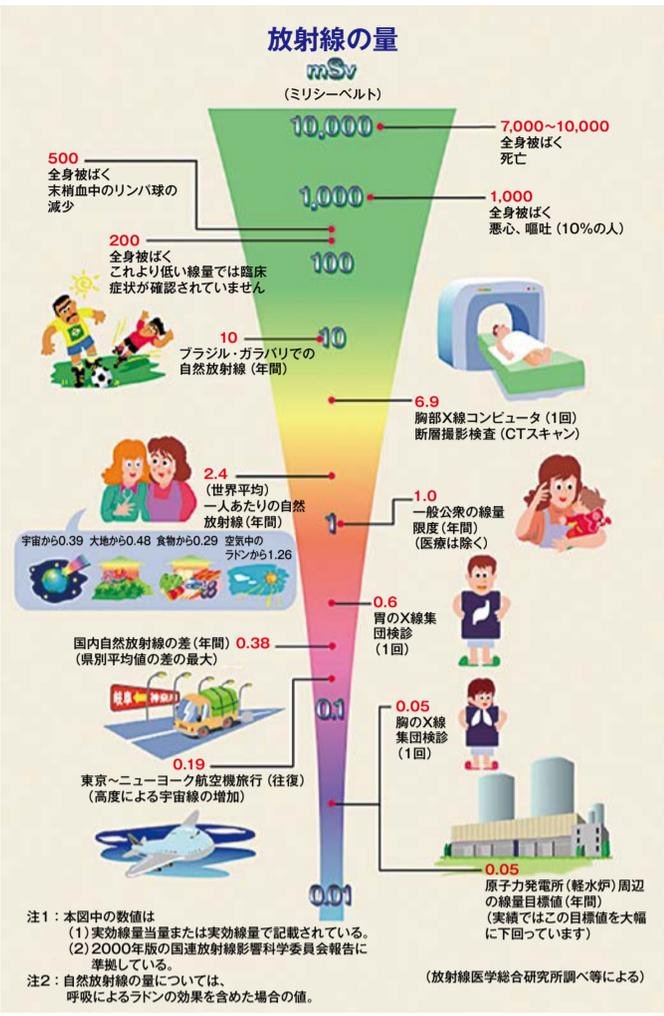
## 医療被ばくについて

放射線科 技師長 関根 明

福島第一原発事故のあと、放射線による健康影響が大きな関心を持っており、放射線は私たちの暮らしの様々な分野で利用されています。中でも最も身近なものが、病院において放射線を利用した検査や治療ではないでしょうか。

### 放射線と聞いて どの様なイメージを 持ちますか?

インターネットで放射線に対するイメージについての種々のアンケート結果を調べたところ、やはり相当の割合で、怖い、が占めています。日本の場合、歴史的な背景もあって「放射線」



### レントゲン写真を 何度も撮って大丈夫?

皆様の中には「レントゲン写真を何度も撮って大丈夫なの?」、「被ばくしてガンにならないの?」といった疑問を持たれた方も少なからず居られることでしょう。これらの疑問について具体的な数値を交えて少しご説明いたします。

### レントゲンや CT検査で受ける 放射線量は

胸部レントゲンでは、放射線量0.05、胸部CTでは放射線量7程度と、放射線検査1回で受ける放射線量は極めて少なく、

の方であれば放射線量200 (単位:mSv) 以下の臨

床症状は確認されておらず、この数値以下では何も起こらないとされています。ただし、妊娠初期 (受精から8週位) の妊婦においては放射線量100で流産や形態異常の心配が出てきますので、この時期の胎児は放射線の影響を受けやすく、注意する必要があります。

### 医療以外の 放射線被ばくについて

放射線は医療や原子炉、また原子爆弾といった人間が作り出す特殊な環境でのみ存在していると思われがちですが、実は私たちの日常生活の中にも様々な種類の放射線が存在し、知らないうちに放射線被ばくを受けているのです。宇宙から、

さらには食べ物の中にも放射線が存在しており、これらは自然放射線と呼ばれています。年間の自然放射線量の世界平均は2.4 (胸部レントゲン48回に相当) ですが、地域によって差も大きく、中でもブラジル (ガラバリ) のように年間の自然放射線量が10 (胸部レントゲン200回に相当) の地域もあります。しかし、このような放射線量の高い地域においても、健康影響が発生しているといった報告はありません。ちなみに、私たちの住む日本においての年間自然放射線量は2.1 (2011年推定値・胸部レントゲン42回に相当) であり、世界平均よりも低い値となっています。もちろん、これによる健康影響はないと言えるでしょう。

当院は、平成22年に「医療被ばく低減施設」として県内初 (全国第19号) の認定を受けました。これは、日本診療放射線技師会によって認定されているもので、患者さまの医療被ばく低減管理が適切に行われていることや、専門の知識を持ったスタッフが在籍していること、放射線機器の管理体制が充実していることなどが認定の条件となります。

こうした点からも、放射線検査で受けた被ばくによるリスクは確認できないほど小さなものであると、ご理解いただけたのではないのでしょうか?

さらに、私たち診療放射線技師も検査の際には、なるべく少ない被ばく線量を確保するように、放射線の量を体格に合わせて調節したり、照射する範囲をなるべく小さくして検査を行ったりするなど様々な工夫をしています。しかしながら、同じ検査であっても病院ごとで放射線量 (被ばく線量) にバラツキがあるのも現状なのです。

当然の事ながら当院ではなるべく少ない放射線量で診断価値の高い検査を行うように配慮しております。医師が必要と判断したCTやレントゲンなどの検査は、患者さまにとって必要であるからこそ行われるものですので、正しく理解し安心して受けていただけたらと思います。

以上簡単な説明ではありますが、放射線検査における被ばく等に関してご不明な点がございましたら、お気軽に放射線科スタッフまで声をお掛けください。  
※難解を考慮し、全身および局所の被ばくを考慮せず、単位はmSv (グレイ) を用いず、mSv (シーベルト) に統一して記述しています。

### 神経伝導検査 DPN (糖尿病末梢神経障害) チェックのご紹介

糖尿病の三大合併症は網膜症・腎症・神経障害とされています。

その中でも神経障害は糖尿病患者の4割が合併するといわれていますが、早期では自覚症状を伴わないことも多いので、気付かずに放置してしまう場合もあります。自覚症状がある場合は、まず両足に痛みや不快感を感じたり、力が入りづらいなどの症状が現れます。さらにそのまま放っておくと神経は次第に働きを失っていくため、足の感覚が鈍くなったり、痛みを感じなくなったりします。すると傷を負っても気付かなくなり、そこから細菌感染を起こし、酷い場合には足の一部が腐り、切断を余儀なくされる可能性もあります。他にも自律神経を障害されることによって不整脈や失神などが起こることもあり、心臓発作による突然死など重篤な事態を引き起こしかねません。

現在、どの程度神経に影響を及ぼしているかを調べるための検査はいくつかありますが、より詳細な検査として「神経伝導検査」が有効です。腓腹筋というふくらはぎの感覚神経の電気が伝わっていく「速度」と「大きさ」を調べることで血糖や血圧のように数値で神経障害の程度を評価することができます。この「神経伝導検査」が当院でも実施できるようになりました。検査方法は、ベッドに横になり検査装置でくるぶし付近に10回前後の電気刺激を与えます。神経に刺激を与えるので多少の痛みを伴いますが、検査は数分で終了します。



### 外来診療のご案内

平成28年4月より新たに診療日の増設と名称が変更になった診療科をご紹介します。

- ★整形外科外来：火曜日に診療日を増設
- ★糖尿病外来：金曜日 (午前のみ) に診療日を増設
- ★リウマチ科外来：月曜日 (第2・4週)、水曜日 (第3週) に診療日を増設

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	○	★	○	○	○	○
	午後	○	★	○	○	○	○
糖尿病・内分泌科	午前	○	○	○	○	★	○
	午後		○	○	○		
リウマチ科	午前	★ (隔週)		★ (第3)	○	○ (隔週)	
	午後	★ (隔週)		★ (第3)	○	○ (隔週)	

※4月1日より物療内科からリウマチ科へ診療科の名称が変更になりました。



# 平成28年度入社式

4月1日入社式が行われ、今年度も多くの職員が入職しました。

- |              |                |               |                |             |
|--------------|----------------|---------------|----------------|-------------|
| 村井 風香 (看護師)  | 立崎 奈津美 (看護師)   | 石井 達規 (作業療法士) | 磯崎 小波 (クラーク)   | 榎本 紗奈 (事務員) |
| 要塚 由陽 (看護師)  | 村田 杏奈 (看護師)    | 田中 聖希 (作業療法士) | 合田 円香 (クラーク)   | 菅原 遥香 (事務員) |
| 大久保 そら (看護師) | 田村 いづみ (看護師)   | 山口 舞衣 (作業療法士) | 北見 翔子 (クラーク)   | 向坂 昭代 (保育士) |
| 吉永 彩乃 (看護師)  | 成田 峻也 (臨床工学技士) | 住永 結香 (MSW)   | 矢原 舞子 (ナースエイド) |             |
| 松永 彩花 (看護師)  | 鈴木 雄也 (理学療法士)  | 井祐 麻衣 (クラーク)  | 安藤 佑季 (ナースエイド) |             |
| 宮野 愛美 (看護師)  | 小野 寿里 (理学療法士)  | 伊藤 遥 (クラーク)   | 森 脩人 (事務員)     |             |



## ボランティア通信

### 七夕の笹を飾りました



梅雨とは思えない元気な太陽が照る6月18日(土)七夕の笹の飾りつけを行いました。外来待合室から入院病棟まで合計8か所の笹が彩りよく飾られると笹の良い香りがしました。早速願い事の書かれた短冊が結ばれていました。みんなの願いがどうぞ届きますように。



- ▼ 今年はテラスのオリブがたくさん実をつけました。さてどうやって調理しようかな? (あぶくん)
- ▼ 今年も自宅前の田んぼに蛍が飛び交う季節となりました。あつ!まだ今年が目撃始めていない! (せつとん)
- ▼ 2年前から猫を飼い始め、今のストレス発散は猫の毛玉取り。今月から委員になりました。宜しくお願ひ致します。(猫侍)
- ▼ 新しい運動にハマりました。長く続こう頑張ります。(バスケット好き)
- ▼ 「二年ぶりの夏〜」(エフヨコリスナー)
- ▼ 夏の青い空は恋しいけど、どうか暑さはお手柔らかに願ひます。(わあい)
- ▼ ツーリングに行きたいなあ。(TYM)
- ▼ あつという間で半年が過ぎてしまいました。(てつ)
- ▼ 冬は袖、夏は梅:今年も漬けちゃいました。ウメッシュ(笑)(青林檎)
- ▼ 魚釣り始めました!新しい事を始めるのは楽しいですね!! (Q)
- ▼ あちこち不具合が生じていますが、淋しくはありません。(六角さん)

### 編集後記

## 平成28年度永年勤続者表彰

5月15日マザー牧場にて行われた新入職員歓迎ハイキングで、永年勤続表彰を行いました。

### 30年表彰



榎本洋子 (看護師)  
松永いよ子 (准看護師)  
大口広美 (事務員)



### 20年表彰



大村佳子 (看護師)  
石井真紀 (看護師)  
北尾愛 (社会福祉士)



### 10年表彰



緒方真美 (看護師)	濱屋沙耶香 (クラーク)
横田浩 (看護師)	竹之内由佳 (クラーク)
鍛有桂 (看護師)	伊藤しのぶ (看護師)
永井妙子 (看護師)	山本有希子 (看護師)
元吉広恵 (看護師)	金城春樹 (薬剤師)
安藤純 (診療放射線技師)	
正木知佳 (クラーク)	岩下幸子 (ナースエイド)
小原嘉代 (ナースエイド)	有富徹哉 (事務員)
	秋山美紀 (事務員)

## 肺炎球菌ワクチンについて

平成28年度の肺炎球菌ワクチン接種が始まりました。当院は予約制で行っております。

### 【高齢者定期接種】

●対象者:平成28年度以下の年齢になる方で、今まで接種したことがない方

- 65歳: 昭和26年4月2日生~昭和27年4月1日生の方
- 70歳: 昭和21年4月2日生~昭和22年4月1日生の方
- 75歳: 昭和16年4月2日生~昭和17年4月1日生の方
- 80歳: 昭和11年4月2日生~昭和12年4月1日生の方
- 85歳: 昭和6年4月2日生~昭和7年4月1日生の方
- 90歳: 大正15年4月2日生~昭和2年4月1日生の方
- 95歳: 大正10年4月2日生~大正11年4月1日生の方
- 100歳: 大正5年4月2日生~大正6年4月1日生の方

※60才以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方も対象。

●接種期間:平成28年4月1日~平成29年3月31日

●自己負担金額:住所を有する市町村によって異なります。君津市、木更津市、富津市に住所を有する方……………5,400円  
袖ヶ浦市に住所を有する方……………2,500円  
※生活保護世帯の方、被災者の方は、自己負担免除となる場合があります。住所を有する市町村にお問い合わせ下さい。

### 【任意接種】

●自己負担金額……………8,000円  
予約センター  
0439-52-7068

平成28年度の特健診・後期高齢者健診は予約制となっております。事前に予約を取ってから来院をお願いします。

### 特定健診について

予約受付番号 0439-52-2366 受付時間 9:00~16:00

結果をお伝える日も予約制となります。検査を受けた際に、結果を聞きに来ていただく日にちを健診担当者からご案内いたしますので都合の良い日にちをお知らせ下さい。